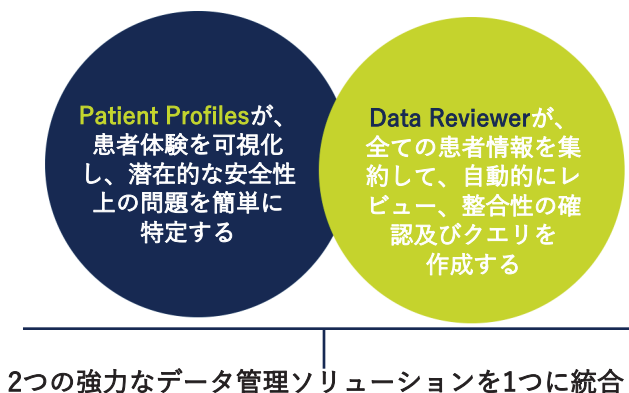


Medidata Patient Data Surveillance

高度な解析による 患者情報及び集約データレビューの効率化



データの完全性及び品質を管理するため、臨床試験中に患者の安全性が確保されるように、データ管理者、生物統計学者やメディカルモニターを含む各担当者が協力して取り組んでいます。しかし、電子的データ収集（EDC）システムや他のデータソースにまたがるデータを集約し、全データのリストを作成し、マニュアルでクエリのレビューを実施する業務は、多くの工数と時間を要し、データの遅延を招く可能性が高く、リソースの利用状況による制限も検討しなくてはいけません。

Medidata Patient Data Surveillanceは、[Rave EDC](#)と連携する最新のイノベーションで、2つの強力なデータ管理ソリューションを組み合わせることにより、複数のデータソースにまたがる複雑なデータを検討する業務を簡略化します。第1のソリューションはPatient Profileで、包括的な患者体験を表及びグラフを介して可視化して、簡単に表示できるため、直感的に安全性の確認及び医学的な確認を実施することができます。第2のソリューションはData Reviewerで、全てのデータソースから患者データを集約して、レビュー、整合性の確認及びクエリ作成の全てを1つのロケーションで行うことが可能になります。

Patient Data Surveillanceの設定に要する工数は最小限であり、最短で2週間で導入することができ、数時間でカスタムプロファイル及びリストを作成することが可能です。

メリット

複雑なリストの作成を効率化する

簡単なドラッグ&ドロップ機能で複雑なリストが作成でき、プログラミングに要する時間及び工数を軽減する

データレビューにかかる工数と費用を削減する

データマネジメントは、複数のステップ、複数のシステム及びエラーが起きやすい工程から、4ステップの自動データレビューのワークフローに移行できる

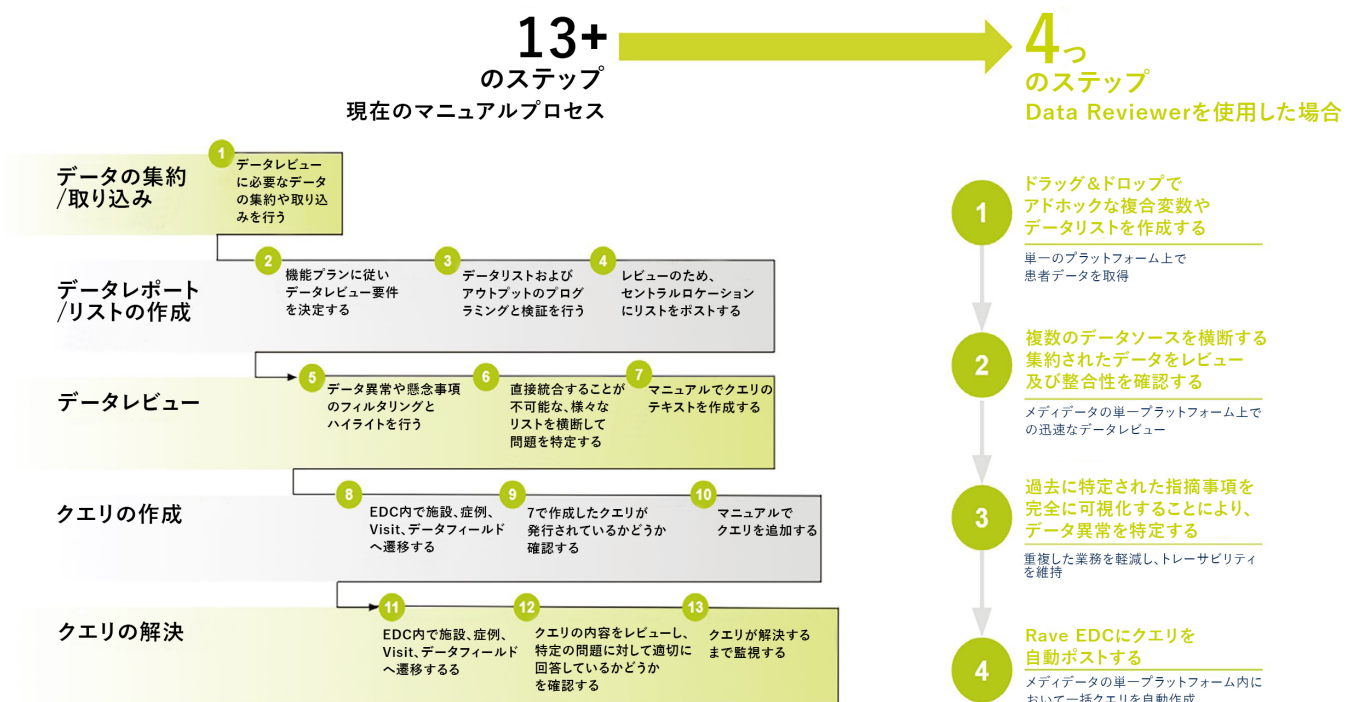
より深い洞察を実現

簡単で出力可能なプロファイルにより、依頼者は患者情報及び患者体験の全体像をより詳細に把握できる

特長

- EDCやその他のデータ（臨床検査値、eCOA、sensor及びwearable data、安全性情報等）を含む、全ての患者情報ソースをサポート
- Rave EDCへ一括でクエリを作成し、自動化
- プロファイル及びクエリからRave EDCに直接連携してデータを毎日更新する
- グラフ、タイムラインの時系列表示及びカスタムフラグによって、患者情報の検討したい部分に注力する
- アドホックな複合変数やデータリストをプログラミングなしで作成可能
- 最短2週間で導入可能

マニュアルによるデータレビューのタイムラインを大幅に短縮



メディデータの強み

データ取得の重要性が増すにつれて、製薬、バイオテクノロジー及び医療機器業界では、クリニカルデータサイエンスへの新しいアプローチが求められています。データソースへアクセスする速さ及び拡大を支援し、データ間の整合性を管理する自動化されたワークフローを提供します。Patient Data Surveillanceは、メディデータの包括的なデータ及びリスクを監視するソリューションであるMedidata Detectの一部であり、Rave EDCと統合されています。これにより、単一のシステム内において、データクリーニングと品質監視プロセスが効率化されるため、データマネジメント及び臨床開発の担当者間のコラボレーションが向上します。他社ベンダーは、より広範への統合を必要とするポイントソリューションを提供していますが、メディデータは、モジュール式で相互接続された、プラットフォームベースの機能を提供し、費用やワークフローの大幅な効率化と将来を見据えたイノベーションを実現することが可能です。